



自然の中で、誰もがお茶会を。  
SnowPeak×中川政七商店×茶論のトリプルコラボ  
「野点セット」2020年11月2日発売



1716年創業の奈良の老舗・株式会社中川政七商店（所在地：奈良県奈良市、代表取締役社長 千石あや）は、Snow Peak×中川政七商店×茶論のトリプルコラボレーションによる、自然の中でお茶が点てられる道具「野点セット」全3色を、2020年11月2日（月）よりオンラインショップおよび一部直営店にて数量限定発売いたします。

秋も深まりアウトドアシーズンの到来。キャンプ場で嗜む飲み物といえばコーヒーが主流ですが、日本のアウトドア飲料の原点は「抹茶」でした。かつて戦国大名たちが野遊びや狩りをする中で茶会を楽しんでいたことから、野山でお茶を点てる文化「野点（のだて）」は生まれました。季節の移ろいを感じる自然の中で、作法にとらわれず自由に一服できるのが特徴です。

そんな野点を気軽に愉しめるよう、良質なアウトドア用品を製造する「Snow Peak」、日本の工芸をベースにもものづくりをする「中川政七商店」に加え、茶道ブランド「茶論」の監修によってアップデート。軽量で丈夫なチタン製の茶碗や、コンパクトに納まる天然素材の茶道具など、日本のものづくりを活かしながら現代の野点のための道具として開発しました。さらに茶道未経験者でも気軽に愉しめるよう、茶論のブランドディレクターを務める茶人・木村宗慎氏監修による野点ガイドンスも同梱。日常から離れた景色の中でまるで「茶会」を開くように、アウトドアに新たな体験をお届けいたします。

Snow Peak×中川政七商店×茶論 野点セット



中川政七商店限定色「瑠璃（るり）」



茶論限定色「古代紫（こだいむらさき）」



Snow Peak限定色「海松藍（みるあい）」

## 日本のアウトドア飲料の原点「抹茶」

キャンプで愛飲される飲み物といえばコーヒーが主流ですが、日本の歴史を遡ると、抹茶とアウトドアは密接な関係にありました。かつて戦国大名たちが野遊びや狩りをする中で茶会を楽しんでいたことから、野山でお茶を点てる文化「野点」は生まれました。季節の移ろいを感じる自然の中で、作法にとらわれず自由に一服できるのが特徴です。四季に寄り添い花見や紅葉狩りなど行楽を楽しんできた日本文化の歴史にとって、抹茶はアウトドアで楽しむ飲料の原点といえます。



## 野点を現代にアップデート

トリプルコラボレーションによって、野点を現代の道具としてアップデート。日本のものづくりを活かした、全6アイテムを開発しました。

【仕覆(しふく)】表地に中川政七商店のルーツである手績み手織りの麻生地を、裏地にSnow Peakのテント生地を使用。裾口にはテント用の金具や紐をあわせ、機能性とデザイン性を兼ね備えました。各ブランドをイメージした「瑠璃」「古代紫」「海松藍」の3色展開。



【茶碗】軽くて丈夫なチタン製の茶碗は、二重構造で保温性が高いため野外でも冷めにくく、美味しくお茶をいただけます。

【茶杓(ちゃしゃく)・茶筌(ちゃせん)・棗(なつめ)】折畳み式の茶杓・約7cmのミニ茶筌・抹茶がこぼれにくい内蓋付きの棗と、茶碗の中に全て納まるよう特別に詠えました。いずれも天然素材を使用し、奈良高山や栃木の職人と試行錯誤を重ねました。

【茶巾(ちゃきん)】茶碗を拭うための茶巾は、中川政七商店が創業時から扱っている手績み手織りの麻生地で作られています。

※2016年にSnow Peak×中川政七商店のコラボレーションにより第1弾の野点セットを発売し、即完売。今回は茶論が加わり、さらに仕覆の素材を大きくアップデートし第2弾のコラボレーションが誕生しました。

## 誰もが野点を楽しめるガイドンス付き

作法にとられないのが野点とはいえ、道具の扱いは心得ておきたいもの。またせっかくなら、お茶会さながらに点前を披露して人々をもてなしたいものです。

野点セットには、茶論のブランドディレクターを務める茶人・木村宗慎氏監修による野点ガイドンス資料を同梱。図解での解説に加え、お茶の点て方をWeb動画で確認できます。茶道未経験者でも、誰もが野点を楽しんでいただけます。



## 商品情報

商品名：Snow Peak×中川政七商店×茶論 野点セット

ラインアップ：全3色(瑠璃・古代紫・海松藍)

価格 各23,000円(税抜)

セット内容：仕覆(麻)、茶碗(チタン)、茶巾(麻)、茶筌・茶杓・茶筌筒(竹)、棗(メープル)、しおり(紙)

発売日 2020年11月2日(月)

※「中川政七商店」および「茶論」直営店のみ10月1日(木)から予約可能

※各オンラインショップは11月2日(月)10:00より発売

取扱店舗：【瑠璃】中川政七商店 オンラインショップ、中川政七商店 直営店全店(「分店」除く)

日本市 羽田空港第2ターミナル店、日本橋高島屋S.C.店

〈お客様お問合せ先〉

中川政七商店 <https://nakagawa-masashichi.jp/>

茶論 <https://salon-tea.jp/>

〈メディア関係者様お問合せ先〉

株式会社中川政七商店・株式会社道舛舎(茶論) 広報 佐藤菜摘、須藤 萌恵  
080-3464-4622(佐藤) [kouhou@yu-nakagawa.co.jp](mailto:kouhou@yu-nakagawa.co.jp)